

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

基本事項

		整理番号	681
事業名	酪農振興会補助金	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	農業振興部 農林振興課		款 農林水産業費・6款
電話	0799-43-5025		項 農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 畜産業費・6目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり	
	まちづくりの目標	ふやさんが 食づくりの担い手【農漁業】	
	施策目標	食づくりの源である豊穰の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる	

Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 団体に所属する酪農家の相互協力の精神を高め、経営の合理化と経済的地位の向上を図る。		
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 市及び県共進会への参加 研修・講習会の実施 防疫事業(家畜伝染病予防法第5条及び6条に基づく)への協力		
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等) 市内酪農家より組織され、旧町地区より代表者1名を選出し、会長・副会長(2名)・会計を務める。事務局の所在は、淡路島酪農農業協同組合内におかれている。		
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体 <input type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	旧4町時の補助金の合計		
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	760	760	760	760	760
	酪農振興会補助金	760	760	760	760	760
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	760	760	760	760	760
	人件費(正規職員)[B](千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])	760	760	760	760	760
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成22年度まで決算額。平成23～24年度は当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市酪農振興に大きく寄与する団体で、本市酪農を衰退させないため必要である				自己評価 (5点評価)
					3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 酪農戸数の減少が進む中で、組織機能の強化が必要である。また、昨年宮崎県において発生した家畜伝染病「口蹄疫」等、不測の事態が発生した場合には、団体の協力が不可欠である。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 本市の乳用牛飼養農家の中心となる団体であり、農家の高齢化、後継者不足等を考慮すると会員同士の相互扶助、組織機能のさらなる強化が必要である。				<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

Action & Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	畜産農家の減少をくい止めるためにも、後継者の育成と組織の強化を図る。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)		
(現状維持の場合も記入) 廃止の影響	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 酪農家は南あわじ市の基幹産業である農業にとって、良質堆肥の供給という役割を担っており、酪農家の減少、規模縮小に歯止めをかけなければ農業全体に影響がでるおそれがあることから、引き続き団体への支援が必要であると考え。	